

## 学級でも、授業でも、部活動でも、 自己肯定感を高めるかかわりを基本に

入学当初は、先生の大きな声に、不安や恐れを感じる場合があります

- 大きな声で指導や指示をしない
- 個別の声掛けは、“近付いて、静かに、穏やかに”を心掛ける
- 名前は敬称を付けて呼ぶ

指示の出し方をひと工夫してもらうだけで、理解しやすくなり、安心して行動することができます

- 注意を引き付けてから指示を出す
- “一指示一行動”を心掛ける
- 視覚情報を添える（ポイントになる単語だけでも）

一度聞いただけでは、理解できなかつたり、困っていてもそれを言い出せなかつたりしています

- “入学当初は、分からない・できないのが当たり前”という意識で接する
- 「君が質問してくれたことで周りの人も助かったよ」

トイレの失敗で登校できなくなる生徒がいます。特に、オリエンテーション期は、気を配りましょう

- 長時間の活動のときは、トイレの時間を確保して事前に伝えておく
- トイレや体調不良の申し出がしやすい雰囲気づくりをしておく

よいところに目を向け、伝えると、生徒は「自分は認められている」と感じ、安心します

- 名前 + 具体的な行動 + 「先生、うれしかったよ」「ありがとう」
- 当たり前と思われる行動もほめる材料にして、ほめる機会を増やす
- 「〇〇先生がほめていたよ」などの“間接ほめ”を効果的に使う

学校生活の大部分は授業です。授業中に何度もダメな自分を感じて落ち込んでいる生徒がいます

- 授業の中で、一部分でも「できた」「分かった」を感じられるようにする
- その子に合った出番や活躍のさせ方を工夫する
- 基礎学力の定着を図り、自信につなげる

「友達がいない。みんなと仲良くできない自分はダメなんだ」と悩み、孤独感を感じている場合があります

- 自分にとっての友達について考えさせる
- 「友達が少ないことがダメなことではないよ」
- 友達がいる・いないに関わらず、一人でも行動できるようにさせる



佐賀県教育センター  
平成 31 年 3 月

## つくろう！目指そう“明日も行きたい”中学校

# 中学校生活の好発進



### 新入生は未知の環境に不安がいっぱい…

〇授業中は大丈夫だけど、休み時間が一人でつらい  
〇困ったときに、どの先生に相談してよいか分からない

〇教科ごとに先生の指示やノートの取り方などが違う

〇中学校のルールが分からないうちに怒られて怖くなった  
〇先生や先輩との付き合い方が分からない

〇一度にいろいろなことを説明されても覚えていられない

### そこで、「統一化」「共有化」「視覚化」

「統一化」…基本的なルールや約束事等について足並みを揃える

「共有化」…先生同士、あるいは先生と生徒同士で基本的なルールや約束事等について共通理解を図り、保護者にもその内容について情報を提供する

「視覚化」…統一化・共有化したことを分かりやすく提示・掲示する



この3つの視点で、新入生が新しい環境に適応するための取組をしていくことが、新入生が安心して中学校生活をスタートさせるための礎となります。その中で適宜称賛し、「できた達成感」「分かる喜び」を味わわせながら新入生の自己肯定感を高めていきましょう。

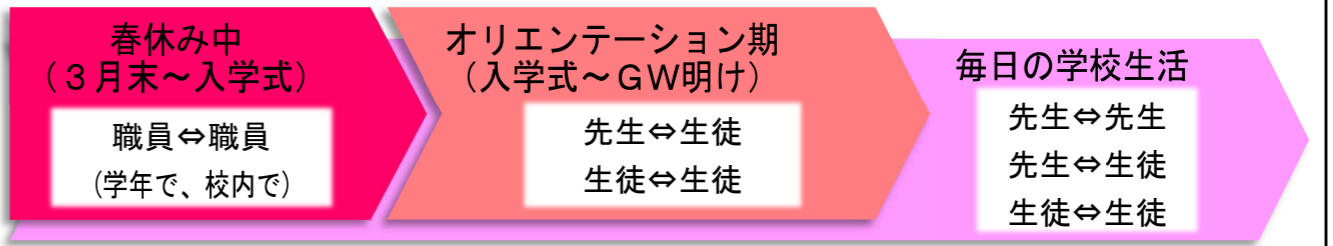
### 春休み～

### まずは、4月からの取組について職員間で統一を図ることから！

取組は、生徒が入学する前から意図的・計画的に始めます。

それぞれの段階で取り組むべきこと、取り組むことができそうなことなどをチェックし、すべての生徒の中学校生活におけるスムーズなスタートを後押ししていきましょう。

### 各段階での統一化・共有化・視覚化



## 各段階での統一化・共有化・視覚化

### 春休み中（3月末～入学式）

職員⇄職員（学年で、校内で）

#### ◆統一化しておこう！

##### ＜教室環境＞

- 机・椅子・ロッカー・靴箱の配置
- 電子黒板の配置
- 掲示物
  - 配置  色  形式
- 机・椅子・ロッカー・靴箱の記名やナンバリング

##### ＜学校生活＞

- 生活
  - 生活のルール  一日の流れ
  - 服装の約束  清掃活動
  - 昼食時間  着替え
  - 休み時間の過ごし方
  - 登下校や自転車置き場の約束
- 学習
  - 授業のルール  授業の流れ
  - 授業・テストの受け方
  - 学校に置いてよい道具
- 係活動・当番活動
  - 生徒会や教科連絡などの係分担
  - クラス内の係活動・当番活動
  - 朝の会・帰りの会の会順

#### ◆視覚化しておこう！

- ・ 掲示物
- ・ プレゼン資料
- ・ 配付資料

#### ◆共有化しておこう！

- 生徒理解 ※できれば全ての生徒について
  - 小学校から  保護者から  関係機関から  
(「個別の指導計画」等の内容は確実な引継ぎを)
- 小学校でのルール
- 学年当初の提出物
- 提出物の提出の仕方(遅れた場合も含めて)
- オリエンテーション期の予定
- ルール定着の計画(どのルールをいつまでに)
- 教科ファイルの色分け(色の重なりがないように)
- 課題について(曜日や量などが偏らないように)
- 課題忘れへの対応

### オリエンテーション期（入学式～GW明け）

先生⇄生徒、生徒⇄生徒

#### ◆統一化してやってみよう!!

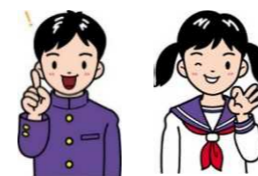
- 学級づくり
  - 連絡帳の活用
  - 計画に沿ったルールの浸透・定着
  - 道徳  学活  総合的な学習の時間  
(構成的グループエンカウンター等を取り入れて)
- 授業づくり
  - 授業開き  
(授業の進め方、評価の仕方、学習用具、テスト、課題、忘れ物をしたとき)
  - 授業の始め方と終わり方
  - チョークの色  忘れ物への対応
  - 特別教室への移動の仕方
- 家庭学習
  - 課題のスタート  課題の量の調整
  - 課題忘れへの対応(支援や配慮が必要になることも)

#### ◆共有化を進めよう!!

- 生徒理解
  - 特性  家庭環境
  - 学習のようす  部活動のようす
- 配慮を要する生徒についての学年生徒への理解促進
- 学級の時間や授業中の静穏な時間の保障
- クールダウンできる場所の保障
- 保護者への情報提供(各種便り、ホームページ、家庭訪問)
- SC、SSWの活用

#### ◆視覚化して進めよう!!

- 中学生活オリエンテーション  
(生活、学習、係活動・当番活動、教育相談)
  - 生徒会オリエンテーション
  - 部活動オリエンテーション
  - 安全指導、交通安全教室
  - 図書室オリエンテーション
  - 保健室オリエンテーション
- ◆できるだけ1冊にまとめる  
◆文字のフォント・色・大きさ、行間の工夫をする



### 毎日の学校生活

先生⇄先生、先生⇄生徒、生徒⇄生徒

#### 登校時

- ・ 校門や昇降口、教室で出迎え、一人一人に言葉を掛けましょう。
- ・ 遅刻や欠席の連絡について確認しましょう。

#### 朝の会

- ・ 生徒の朝の状況を把握しましょう。
- ・ 一日の流れを確認しましょう。
- ・ 提出物や課題の提出状況を把握しましょう。



#### 授業中

- ・ 統一した授業のルールを徹底しましょう。
- ・ 「できた達成感」や「分かる喜び」を味わうことのできる授業を実践しましょう。
- ・ 学習道具や課題の忘れがないか確認しましょう。
- ・ 学習のめあてや授業の流れを視覚的に示し、1時間の授業の見通しをもたせましょう。
- ・ 無理なくできる課題にしましょう。

#### 休み時間

- ・ 次の授業の準備や移動、トイレ休憩の時間を確保しましょう。

#### 昼食時間

- ・ 生徒の様子に気を配りましょう。

#### 昼休み

- ・ 安全で安心な生徒の居場所づくりをしましょう。

#### 帰りの会

- ・ 生徒の様子を把握しましょう。
- ・ 連絡帳への記入を確認しましょう。
- ・ 配布物は説明を添えて配りましょう。
- ・ その日の課題を全員で確認しましょう。

#### 放課後

- ・ 教室や校門で見送り、一人一人に言葉を掛けましょう。
- ・ 教室環境を確認しましょう。
- ・ 欠席者等への電話連絡や家庭訪問をしましょう。

#### 部活動

- ・ スケジュールは早めに提示し、休養日を確保しましょう。
- ・ 休んだり早退したりした生徒の情報は担任と共有しましょう。
- ・ 部室の様子を把握しましょう。
- ・ 安全に帰宅できるよう下校時間を守らせましょう。